

第70回日本ハンドボール選手権大会（男子の部）

戦況用紙

日時 2019年2月1日（金）

場所 山鹿市総合体育館（Aコート）

回戦 準々決勝

A 20 トヨタ紡織九州
レッドトルネード (JHL) ● 26 $\left(\begin{matrix} 13 - 14 \\ 13 - 14 \end{matrix} \right)$ 28 ○ トヨタ車体 (JHL)

| | | |
|----|----|---|
| 戦況 | 前半 | トヨタ車体の最初のセットオフENSEを凌いだトヨタ紡織が松浦の豪快なミドルシュートで先制。今大会好調のG K岩下の連続セーブで、開始5分までトヨタ車体を無得点に抑える。一方、トヨタ車体も高智のミドルシュートなどで同点に追いつくと、その後は両チームともに相手に連続得点を許さない丁寧なディフェンスで、見応えのある試合展開になる。一進一退の均衡を破ったのはトヨタ車体、27分過ぎに杉岡の連続ゴールでこの試合初めて3点のリードを奪う。しかし、トヨタ紡織もすぐさま李、金の韓国コンビの連続ゴールで1点差に詰め寄ったところで前半が終了する。 |
| | 後半 | 後半に入ると前半の緊張感のある雰囲気は一転する。トヨタ紡織は開始直後から3人が相次いで退場処分となり、その隙を突き、杉岡、吉野らのゴールで6連取に成功したトヨタ車体が流れを引き寄せ。トヨタ紡織は、8分過ぎにようやく梅本のサイドシュートで後半の初ゴール挙げると、金のミドルシュートなどで追い上げを試みるが、要所で退場者を出してしまう。それでも20分過ぎから李の3連続ゴールで2点差まで詰め寄るが、残り2回のタイムアウトを活用してゲームをコントロールしたトヨタ車体が逃げ切りに成功、準決勝への切符を掴んだ。 |

記入者

三村 圭司